

中 1 歴史 幕府政治の移り変わり

講師：河原 数馬

<学習内容>

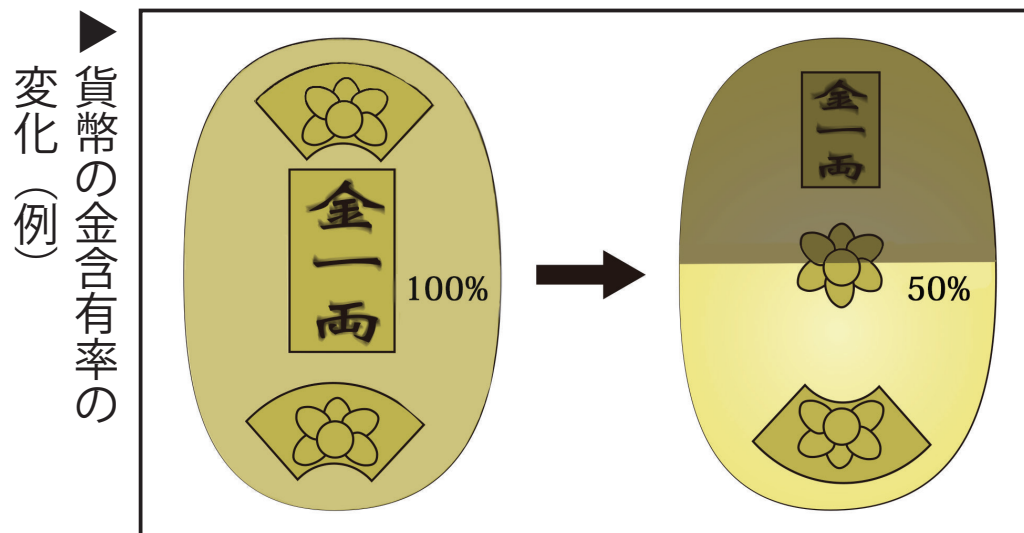
- ▶ 徳川綱吉の政治
- ▶ 徳川吉宗の政治
- ▶ 田沼意次の政治
- ▶ 松平定信の政治
- ▶ 幕府政治の移り変わり

徳川綱吉の政治

■五代将軍・徳川綱吉^{つなよし}の政治（17世紀後半）
生類憐みの令^{しょうるいあわれ}（極端な動物愛護令）を出す。

■綱吉の経済政策

財政難の幕府を立て直すために、綱吉は質の悪い貨幣を大量に発行した。そのため、物価が上がり人々の生活を圧迫した。



徳川吉宗の政治

■^{きょうほう}享保の改革（1716年）

八代将軍・^{よしむね}徳川吉宗が幕府の財政を立て直すために行う。

- ① 諸大名に米を献上させる。
- ② 新田開発をおこなう。
- ③ 裁判や刑の基準である^{くじかたおさだめがき}公事方御定書を制定する。
- ④ 庶民の意見を取り入れるため、目安箱を設置する。
⇒幕府財政は安定したものの、米価（米の価格）が安定せず、ききんも重なった。

▶ 徳川吉宗



四択問題

徳川綱吉の政策として正しいものを1つ選びなさい。

- ① 極端な動物愛護令である生類憐みの令を発令した。
- ② 財政再建のため、諸大名に米を納めさせた。
- ③ 庶民の意見を取り入れるために目安箱を設置した。
- ④ 裁判や刑罰の基準を定めた公事方御定書を制定した。

選択問題

(1)～(3)の政策に関して，徳川綱吉が行った政策には A を，徳川吉宗が行った政策には B をつけなさい。

(1) 庶民の意見を取り入れるため，目安箱を設置した。

(2) 質の悪い貨幣を大量に発行した。

(3) 生類憐みの令を出した。

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

田沼意次の政治

■ ろうじゅう老中（将軍の補佐役）：たぬまおきつぐ田沼意次（18世紀後半）

商工業者の力を利用して幕府の財政を立て直そうとする。

⇒ **株仲間**をつくることを奨励し、これから税を取り立てた。

※株仲間…商工業者の同業者組合。

■ 田沼意次の他の政策

長崎での貿易を活発にするために、
海産物を輸出して、金や銀を輸入した。

■ 田沼意次のしつきやく失脚

この時代は、商人たちが地位や特権を求めて、わいろが横行した。
また、天明のききんや浅間山の噴火による凶作で、世の中が混乱し、田沼は老中をやめさせられた。

▶ 田沼意次



松平定信の政治

■^{かんせい}寛政の改革（1787年）

^{まつだいらさだのぶ}松平定信（老中）がおこなった改革のこと。

⇒農村の復興と幕府政治の引き締めをおこなう。

・農村の復興政策

江戸に出稼ぎに来てた百姓を農村に帰し（強制力は無い）、ききんに備え、倉を作り米を蓄えさせた（^{かこいまい}困米）。

・旗本や御家人の救済

旗本や御家人を生活苦から救うために、借金を帳消しにした。



▲ 松平定信

入試問題（平成 23 年度 和歌山県公立高校入試問題・改）

幕府の改革に関し，次のア～ウは，徳川吉宗，田沼意次，松平定信のそれぞれが行った政治の内容について述べています。これらのできごとを年代の古い順に並べるとどのようになりますか，その記号を順に書きなさい。

- ア. 公事方御定書という裁判の基準となる法律を整備した。
- イ. 政治を批判する出版物をきびしくとりしまり，朱子学を奨励した。
- ウ. 長崎貿易を盛んにしたり大商人の力を利用したりして，財政の再建を図った。

→ →